

現役保育者さんに「保育の魅力」を語っていただきました

保育者を目指したきっかけは何ですか

幼少期は恥ずかしがり屋で幼稚園になじめなかったのですが、保育者の先生に熱心に関わってもらって、楽しい幼稚園生活を過ごすことができました。
自分も人の心を動かせる先生になりたいと思ったことがきっかけで、保育者を目指しました。

民間保育士等緊急確保支援事業は守口市で働くきっかけの一つになりましたか

はい、大きなきっかけになりました。守口市でこういう取り組みがあるので、私も頑張って守口市で保育者になりたいと思いました。



大阪国際大学短期大学部
幼児保育学科卒業生で
現在は市内認定こども園で働く
堀田真美さん

守口で育ち、学び、
守口の園で
働いています

民間保育士等緊急確保支援事業とは？



市内民間認定こども園・保育所に新卒採用された保育教諭などの人を対象に就労促進給付金として採用年度に最大40万円の補助を実施しています。

他にも、宿舍借り上げ支援や保育教諭などの人が受講するキャリアアップ研修受講費用についても補助しています。

保育教諭などとして働いたら守口市で!!



民間保育士等緊急確保支援事業について詳しくは二次元コードをご覧ください。

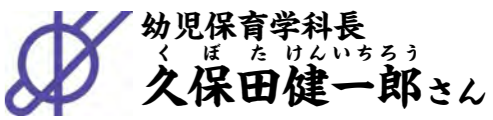


守口市と大阪国際学園が

こども部 × 大阪国際大学
短期大学部

～特別対談～

手を取り合う子育てのまち



久保田 大阪国際学園は、学園全体の方針として、地域社会の発展を目指しています。地域社会の発展には、その活力となる子育て世帯を中心とした若い世代が住みやすいまちづくりを進める必要があると考えています。

こうした本学園の方針において、短期大学部に幼児保育学科、大阪国際高校に幼児保育進学コースを設置し、地域での一貫した保育者の養成と保育者を地域の園に、返す取り組みを行っています。

その例として、守口市後援による子育て支援活動「わくわくランド」をイオンモール大日で開催し、地域の親子が集える場となっています。この活動には教員の専門性を生かしたり、保育者を目指す学生が企画運営しています。

半世紀超の伝統、4000人の保育者輩出

平田 大阪国際学園が幅広く活動されていることが分かりました。本日お越しの堀田さんも幼児保育学科を卒業されていますが、多くの保育者を輩出されているそうですね。

久保田 はい、幼児保育学科は50年以上前から保育者養成を行っており、累計4000人以上の保育者を輩出しています。市内の多くの園で卒業生が保育者として活躍しています。園長など園の中核の保育者から、就職したばかりの若手保育者まで多くの卒業生が保育に携わっています。

公民連携で保育者の魅力を発信

平田 まさに大阪国際学園は、保育者を育てる環境となっているわけですね。

一方、本市では、保育を担っていた多く人材の確保も大きな課題となっており、民間保育士等緊急確保支援事業として民間園と協働で40万円の支給を行っています。今後自治体に求める施策はありますか。

久保田 今後は保育者を目指す中高生を増やすことが重要です。そのことで、保育者の仕事の魅力発信の強化になると思います。しかし、国のその動きは不十分であるため、今後は自治体と養成校が連携して進めていく必要があると思います。

堀田 私も保育者になりたいという人が増えてほしいです。そのためにも久保田教授がおっしゃるように中高生に、保育者として働いている魅力を前面に出していきたいです。もし発信できる場があれば協力していきたいなと思っています。

平田 保育者の確保となると、どうしても資格を持った人に目を向けがちですが、長い目で見るとこれから保育者を目指す人を増やすという視点は非常に大切です。大変参考になります。

今回は保育現場、専門分野で活躍されている二人の声を聞き、今後の施策の参考になりました。

本日は、ご多用のところ貴重なお話をありがとうございました。

幼児保育学科主催子育て支援活動「わくわくランド」



大阪国際大学短期大学部幼児保育学科について詳しくは二次元コードをご覧ください。

守口市後援

